

2020年度 公益社団法人日本動物学会 第1回定時社員総会 議事録

1. 開催された日時 2020年9月4日(金) 14:00-14:25
2. 開催された場所 113-0033 東京都文京区本郷7丁目2-2 本郷MTビル
公益社団法人 日本動物学会事務局
3. 社員総数及び定足数
社員総数 2,160名 定足数 1,081名
4. 出席社員数 1157名 (内訳 本人出席 133名 委任状出席 1024名)
5. 出席理事 山下正兼 勝義直 渡邊明彦 小金澤雅之 岡良隆 吉田学
加藤尚志 兵藤晋 深津武馬 竹内和子 稲葉一男 松田恒平
後藤太一郎 志賀向子 沼田英治 植木龍也 浮穴和義 岡田二郎
欠席理事 武田洋幸 飯田弘

出席監事 八杉貞雄
欠席監事 高橋洋

全ての議事に先立ち、社員総会議長として三浦徹会員、議事録作成者として・・・、議事録署名人として吉田学、山下正兼両会員が満場異議なく選出された。本総会は、時間の制約上、先に審議事項の審議を行った。

1. 審議事項

第一号議案 2020-2021年度理事・監事の承認について(資料1)

議長は、定款の規定により、本定時社員総会終結時をもって当法人の理事・監事全員が任期満了退任するため、その後任を選任する必要があることを述べた。岡会長から社員による選挙並びに会長推薦を含めた理事・監事候補者の資料が示された後、議長が各候補者についてその選任の可否を議場に諮ったところ、全員について、満場一致で承認可決された。

第二号議案 2019年度事業報告案について(資料2)

吉田理事より 2019 年度事業報告案についての説明があり、満場異議なく原案通り承認された。

第三号議案 2019 年度決算案について（資料3）

山下理事より 2019 年度決算案についての説明があり、満場異議なく原案通り承認された。

2.報告事項

岡会長より、2 期 4 年間の理事会活動を総括し、以下のことについて報告があった

1) 学会大会について

この 4 年間で 2 度も大会開催の危機に見舞われたが、それを会員の皆様の協力で何とかして乗り越えることができた。この経験から、学会大会は、どのような困難な社会状況にあっても、何らかの形式で開催する努力をする必要があることを痛感した。

2) 定款を改定し、新たに研究助成事業を開始したことについて

これも会員の皆様の協力により、学会初めての定款改定をすることで、新たに研究助成事業（茗原眞路子研究奨励助成）を開始することができた。今後も公益社団法人として、すべての年齢層の会員の活力を総合して、常に新たな学会活動を創出して欲しい。

以上をもってすべての議案の審議が終了したので、議長は閉会を宣した。

上記の議事の経過の要領及び結果を証するため、議長、議事録作成者及び議事録署名人がここに記名押印をする。

2020 年 9 月 4 日

公益社団法人日本動物学会定時社員総会

議 長 三浦 徹

議事録署名人 山下 正兼

議事録署名人 吉田 学

2020-2021年度 理事・監事候補者

理事

氏名	選出支部
小川 宏人	北海道
増田 隆一	北海道
田村 宏治	東北
出口 竜作	東北
神田 真司	関東
加藤 尚志	関東
深津 武馬	関東
稲葉 一男	関東
兵藤 晋	関東
蟻川 謙太郎	関東
浅見 崇比呂	中部
鈴木 信雄	中部
日下部 岳広	近畿
寺北 明久	近畿
彦坂 暁	中国四国
富岡 憲治	中国四国
岡田 二郎	九州
広瀬 裕一	九州
吉田 薫	指名
沓掛 磨也子	指名
柴 小菊	指名
阿部 秀樹	指名

監事

八杉 貞雄
高橋 洋

1. 社員総会

1) 定時社員総会

2019年9月13日(金)

大阪市立大学杉本キャンパス 基礎教育実験棟階段教室

議案

第一号議案 平成30年度 事業報告(案)

第二号議案 平成30年度 決算書(案)(貸借対照表、損益計算書、及び財産目録)

第三号議案 関東支部選出理事の退任の承認と補欠となる理事の選任について

2. 学術集会の開催

2019年9月12日から14日まで、第90回日本動物学会大会を大阪市立大学杉本キャンパスで開催。本部企画シンポジウム4演題、動物学国際交流シンポジウム(ナリシゲシンポジウム)6演題、公募シンポジウム112演題(23企画)、関連集会9演題(4企画)、口頭発表446演題。また、小中高生によるポスター発表が行われ、66演題(全国から小3、中7、高56)の発表が行われた。参加者数 1090名 (公益1)

3. 学術誌の刊行

Zoological Science (ZS)の刊行(第36巻4号～第37巻3号)。538頁。(公益1)

ZSの編集は、編集委員会委員(海外委員2名を含む)が行った。編集委員会は年1回開催(公益1)

Open Access ジャーナル Zoological Letters を出版した。OAジャーナルのため、巻号はない。2019年度の出版論文数は28論文である。

4. Webによる広報活動の促進とニュースの発行

webサイトを利用して、大学等研究機関による職員募集、科学者によるセミナー、シンポジウムの開催通知、動物学研究トピックスなどを随時掲載した。ニュースを月1回発行。

5. データベース構築(ZooDiversity Web)

新たにZS及びZLに出版された論文が対象とする動物種を調査した。

高校への無料公開、IPアドレスコントロールによりZDWを提供。明治期に刊行された動物学雑誌、彙報論文へDOI付与を行う事業を開始した。

6. 研究の表彰

・日本動物学会賞

会員を対象とし、動物学研究に新たな知見をもたらした研究に授与。本年は2件を、学会賞等選考委員会による審査を経て、理事会の審議により決定した。

増田 隆一（ますだ りゅういち）北海道大学大学院理学研究院 生物科学部門・教授
受賞研究「北ユーラシアにおける大型哺乳類・鳥類の遺伝的多様性と動物地理学的歴史の解明」

古屋 秀隆（ふるや ひでたか）大阪大学大学院理学研究科 生物科学専攻・准教授
受賞研究「ニハイチュウの生物学」

・日本動物学会奨励賞

会員を対象とし、今後の動物学研究を推進することが期待される若手研究者に授与。本年は3件を、学会賞等選考委員会による審査を経て、理事会の審議により決定した。

堀江 健生（ほりえ たけお）筑波大学生命環境系下田臨海実験センター・助教
受賞研究「ホヤ幼生の感覚器、脳・神経回路の発生と構造および生理機能に関する研究」

並木 重宏（なみき しげひろ）東京大学先端科学技術研究センター・特任講師
受賞研究「昆虫の行動司令を担う神経回路の分析」

岡西 政典（おかにし まさのり）東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所・特任助教
受賞研究「形態と分子に基づくクモヒトデ綱（棘皮動物門）の系統分類学的研究」

・Zoological Science Award

【受賞論文】

Drosophila Peptide Hormones Allatostatin A and Diuretic Hormone 31 Exhibiting Complementary Gradient Distribution in Posterior Midgut Antagonistically Regulate Midgut Senescence and Adult Lifespan

Koji Takeda, Takashi Okumura, Mayu Terahata, Mio Yamaguchi, Kiichiro Taniguchi, Takashi Adachi-Yamada *Zoological Science* 35(1): 75-85.

Evaluating Movement Patterns and Microhabitat Selection of the Japanese Common Toad (*Bufo japonicus formosus*) Using Fluorescent Powder Tracking

Hisanori Okamiya, Tamotsu Kusano *Zoological Science* 35(2): 153-160.

First Detailed Record of Symbiosis Between a Sea Anemone and Homoscleromorph Sponge, With a Description of *Tempuractis rinkai* gen. et sp. nov. (Cnidaria: Anthozoa: Actiniaria: Edwardsiidae)

Takato Izumi, Yuji Ise, Kensuke Yanagi, Daisuke Shibata, Rei Ueshima
Zoological Science 35(2): 188-198.

Chewing Holes for Camouflage

Jing Ren, Natasha de Gunten, Alexander S. Konstantinov, Fredric V. Vencl, Siqin Ge, David L. Hu

Zoological Science 35(3): 199–207.

Molecular Characterization of Eye Pigmentation-Related ABC Transporter Genes in the Ladybird Beetle *Harmonia axyridis* Reveals Striking Gene Duplication of the white Gene

Tomohiro Tsuji, Hiroki Gotoh, Shinichi Morita, Junya Hirata, Yohei Minakuchi, Toshinobu Yaginuma, Atsushi Toyoda, Teruyuki Niimi Zoological Science 35(3): 260–267.

Mapping of Courtship Behavior-Induced Neural Activity in the Thoracic Ganglia of Silkworm *Bombyx mori* by an Immediate Early Gene, Hr38

Koudai Morishita, Masafumi Iwami, Taketoshi Kiya

Zoological Science 35(3): 276–280.

・日本動物学会女性研究者奨励 OM 賞

安定した身分で研究を続けることが困難であるが、強い意志と高い志を持って研究に意欲的に取り組もうとする女性研究者に対して、OM 賞選考委員会による審査を経て、理事会の審議により決定した。(公益 1)

谷口 順子 筑波大学生命環境系下田臨海実験センター 日本学術振興会特別研究員 PD
受賞研究 「棘皮動物研究から探る、脳と腸管神経系の関わりとその進化」

蛭田 千鶴江 北海道大学大学院理学研究院生物科学部門 理学研究院研究員
受賞研究 「ミジンコの単為生殖機構の解明から減数分裂の成立過程を探る」

・成茂動物科学賞基金奨励賞

動物学の全分野でユニークな研究を展開する会員を振興賞の候補者とする。学会賞等選考委員会の審議を経て、理事会の審議により以下のように決定した。

宮崎 洋祐 (みやざき ようすけ) 芦屋大学経営教育学部・非常勤講師
受賞研究 「昆虫の概年リズム機構の研究」

・川口四郎賞

海外国際会議に出席する若手研究者を対象に、川口賞を授与。学会賞等選考委員会による審査を経て、理事会の審議により決定した。

山川隼平 (筑波大学・生命環境)

参加国際学会: The 5th International Congress on Invertebrate Morphology (University of Vienna)

酒井祐輔 (基礎生物学研究所)

参加国際学会: 14th International Coral Reef Symposium (Bremen, Germany)

・動物学教育賞

活発な啓蒙活動等により動物学の社会への普及に著しく貢献した個人または団体とし、本学会の会員・非会員を問わない。国籍も問わない。理事で構成する委員会で審議し、理事会の審議により、本年は該当者なしとした。

8. 動物学の普及活動、生物科学学会連合による生物学の連携、協調活動

国際生物学賞、国際生物学オリンピックの推進を図り、支援を行った。また、生物科学学会連合活動を生物系学会と連携して推進した。(公益1)

9. 委員会の活動

(広報委員会)

1. 2019年度 Zoological Science Award 授賞論文を学会ホームページに掲載した。
2. 2019年度日本動物学会賞、奨励賞、成茂動物科学振興賞の授賞理由を学会ホームページに掲載した。
3. 2019年度日本動物学会女性研究者奨励 OM 賞の授賞理由を学会ホームページに掲載した。
4. 上記学会賞等の要旨を学会ホームページに掲載した。
5. 2019年定時社員総会開催のお知らせについて、学会ホームページに掲載した。
6. 川口賞報告書を学会ホームページに掲載した。
7. 6月1日にオープンになったリニューアル版の学会ホームページに関し、今後の広報委員会委員での役割分担・広報活動の在り方について議論を行った。
8. 書評(生き物と音の事典)2件を学会ホームページに掲載した。
9. 2020年度日本動物学会賞、奨励賞、成茂動物科学振興賞、動物学教育賞、女性研究者奨励 OM 賞、川口賞の募集情報を学会ホームページに掲載した。
10. 会長年頭挨拶を学会ホームページに掲載した。
11. 会員へのダイレクトメール情報に基づき、公募・研究情報・研究集会情報を学会ホームページに掲載した。
12. 学会ホームページの情報更新・管理維持を行った。
13. 賛助会員への企業からの入会希望について協議した。

2019年～2021年 広報委員(敬称略)

都木 靖彰 北海道大学・大学院水産科学研究院
松岡 有樹 福島県立医科大学・医学部
入江 直樹 東京大学・大学院理学系研究科
竹内 浩昭 静岡大学・理学部
長谷部 政治 大阪大学・大学院理学研究科
吉井 大志 岡山大学・大学院自然科学研究科
池永 隆徳 鹿児島大学・大学院理工学研究科

(図書委員会)

昨年度に引き続き、Springer Series “Diversity and Commonality in Animals”の出版事業が、本委員会の前々委員長以来 3 期にわたり継続しており、進行状況は以下の通りである。

- Series “Diversity and Commonality in Animals” (Springer)

前々委員会の委員及び前委員長が企画済 5 巻の Series Editor を務めている。

Series Editors: Takahiro Asami, Kazufumi Takamune, Hiroshi Kajihara, Kazuya Kobayashi, Hideaki Takeuchi, Kiyoshi Naruse, Masaharu Motokawa, Akiko Satoh, Michiyasu Yoshikuni, Osamu Koizumi.

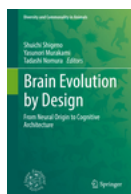
- Vol. 1: Species Diversity of Animals in Japan 既刊 (2017)

Editors: Masaharu Motokawa, Hiroshi Kajihara



- Vol. 2: Brain Evolution by Design 既刊 (2017)

Editors: Shuichi Shigeo, Yasunori Murakami, Tadashi Nomura



- Vol. 3: Reproductive and Developmental Strategies 既刊 (2018)

Editors: Kazuya Kobayashi, Takeshi Kitano, Yasuhiro Iwao, Mariko Kondo



- Vol. 4: Animal Behaviors (仮題)

編集作業継続中

(男女共同参画委員会)

1. 2019年9月より、第10期男女共同参画委員会が20人のメンバーでスタートした。
2. 第90回日本動物学会大阪大会において、第19回男女共同参画懇談会 ランチョン企画「多様なワーク・ライフ・バランスの実現を目指して～第4回大規模アンケート解析結果より見えてきた課題と対策～」を開催した。63名の参加者があり、「キ

- キャリアパス 1」、「キャリアパス 2」、「共働き・単身赴任」、「育児」、「介護」の 5 つのグループに分かれ、グループディスカッションを行った。
3. 男女共同参画学協会連絡会の以下の活動に協力した。
 4. 2019 年学協会連絡会女性比率調査
 5. 会員数調査アンケート
 6. 「緊急事態宣言による在宅勤務中の科学者・技術者の実態調査（実施期間 2020 年 5 月 15 日～6 月 13 日）」への協力
 7. 女子中高生夏の学校 2019（2019 年 8 月 9 日～11 日、国立女性教育会館（NVEC）へのグッズ（絵葉書、マグネット、カードホルダー）の提供
 8. 第 17 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム（2019 年 10 月 12 日（土）於：お茶の水女子大学）に 3 名の学会員が参加しポスター発表を行う予定であったが、台風 12 号接近のため中止となった。ポスター発表は代替措置として web 上の限定公開という形で実施した。また、第 17 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム資料集に動物学会男女共同参画委員会の活動報告を掲載した。
 9. 大規模アンケート「第 4 回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査（2016 年 11 月実施）」の日本動物学会会員データの解析を行い、報告書を作成中である。完成後は動物学会 HP にアップロード予定である。
 10. キャリアパス小委員会（将来計画委員会と男女共同参画委員会メンバーで構成）が実施した「動物学会会員を対象としたキャリアパスに関する意識調査」の報告書が完成し、理事会の審議を経て、学会 HP にアップされた。

（将来計画委員会）

1. 2019 年度 将来計画委員会の新委員を決定した（2019 年 9 月）。

支部	再任・新任	氏名	所属
	再任	加藤尚志	早稲田大学
北海道	再任	角井敬知	北海道大学
東北	再任	西野敦雄	弘前大学
関東	再任	田中幹子	東京工業大学
中部	新任	阿部秀樹	名古屋大学
近畿	再任	久原篤	甲南大学
中国四国	新任	吉田将之	広島大学
九州	再任	守田昌哉	琉球大学
委員会指名*	新任	渡邊明彦	山形大学

*）渡邊明彦委員は、委員会指名によるキャリアパス小委員会専任とする。

2. 男年共同参画委員会、キャリアパス小委員会との協同
2019～2021 キャリアパス小委員会の委員長、副委員長を選出した（2019 年 9 月）

委員長：西野敦雄（将来計画委員会）

副委員長：柴小菊（男女共同参画委員会）

「動物学会会員を対象としたキャリアパスに関する意識調査報告」の公開

石原顕紀（前キャリアパス小委員会委員長）による最終チェックを経た報告書の概要版と詳細版を理事会メール稟議で確認し、学会 HP から公開した（2019年11月）<https://www.zoology.or.jp/news/2018carrier>

2020年 米子大会「ワーク・ライフ・バランスを考える～研究を続けるためのコツとは～第20回男女共同参画懇談会（キャリアパス小委員会合同企画）」開催を申請した。しかし米子大会開催延期に伴う代替えとして9月にオンライン開催となる予定。

3. 将来計画に関する課題設定

2020年 米子大会実行委員（棕田会員ら）と前項「キャリアパス報告」を反映させた新たなプログラムや、演題登録時期の見直し等について、検討を開始した（2019年9月11日委員会，2019年11月以降メール稟議）。

その後，大会，支部大会で経験した開催中止・延期・オンライン開催の経験を踏まえた将来の学会活動の諸課題に関する議論を実施した。今後の学会員対象の調査の実施を決定し，担当リーダー（吉田将之委員）とサブリーダー（阿部秀樹委員）を選出（2020年5月14日 Zoom 会議）。

4. そのほかの理事業務（加藤）

<書記> 下記の理事会の議事メモをまとめた。（小金澤雅之理事と協同）

- ・ 2019年8月28日 ZOOM
- ・ 2019年9月11日大阪市大
- ・ 2019年12月13日令和元年度第3回（Zoom）
- ・ 2020年5月1日 臨時理事会（Zoom）

<生物科学学会連合>

地球生物プロジェクト「2019年 第1回生きもの つぶやき フォトコンテスト」に際して，応募作品の審査をおこなった（飯田弘理事と協同）

<そのほか>

2020年度 学会賞等選考委員会委員

2021年度大会開催準備（関東支部）

- ・ 大会会場（早稲田大学本部キャンパス）の利用申請
- ・ 企画シンポジウム講演者の招聘打診
- ・ コロナ禍に伴う開催対応（2022年度開催へ順延）

（教育委員会）

教育委員会は、以下の活動を行った。

（1） 教育委員会各支部の支部大会を中心に、高校生研究発表等の促進、生徒・児童の学習支援、啓蒙活動を実施した。

（2） 高校生で実施している動物実験や遺伝子組み換え実験に関する教育訓練について、どのように高校で実施されているのかを調査した（実情を知る）。

下記に各支部の教育活動を記す。

<北海道支部>

北海道支部大会が3月23日に北海道大学理学部において開催されました。そのうち高校生関連の部では、参加（発表）高校9校、参加（発表）高校生48名、引率教諭9名で、口演3題、ポスター発表13題の計16演題の発表がありました。

北大関係

1. 北海道高等学校文化連盟 第58回全道高等学校理科研究発表大会
生物部門審査員（黒岩麻里）、10月12日(土)～13日(日)
2. 札幌大谷中学校
講演会講師（黒岩麻里）、10月26日(土)
3. 北海道札幌西高等学校
研究室訪問（小川宏人、加藤徹）、11月29日(金)

旭川医大関係

1. 北海道旭川西高等学校
SSH 課題研究中間報告会 助言指導（春見達郎） 11月13日
SSH 課題研究発表会・課題探求発表会 助言指導（春見達郎） 12月13日

<東北支部>

1. 2019年4月 支部だより NO.64 を配信：
 - ・2019年度支部大会開催についての本年度第1報
 - ・動物学フォトコンテストの開催のお知らせ
2. 2019年6月 支部だより NO.65 を配信：
 - ・令和元年度支部大会開催について（抄録締め切り6月22日）
 - ・「動物学フォトコンテスト」を開催について（応募締め切り7月1日）
3. 2019年7月20日、7月21日 岩手大学にて、日本動物学会・令和元年度東北支部大会を開催（演題数：一般口演21題、参加者数：一般55名、高校生57名）
 - ・「中・高生による科学研究発表」（7月20日13時～15時半）実施（研究発表10題、参加者数：高校生57名）
 - ・親子で楽しむ動物学19「お店にあるのに知らないホヤの生物学」（7月21日13時～15時）実施（参加者数8名）
 - ・「動物学フォトコンテスト」結果発表
 - ・フォトコンテスト（応募数：18作品、受賞：最優秀賞1作品、優秀賞3作品）

<中部支部>

1. 日本動物学会中部支部大会での中高・高専生発表
日時：2019年12月7日（土）～8日（日）
場所：金沢市文化ホール
ポスター発表16件、口頭発表3件、高校生の参加者 76名
大学生・一般の参加者 77名
2. 日本動物学会第90回 大阪大会 動物学のひろば
日時：2019年9月12日（木）～14日（土）
場所：大阪市立大学杉本キャンパス

タイトル：口・腸・肛門もない動物（マシコヒゲムシ）

<関東支部>

1. (社)日本動物学会 関東支部大会 第71回大会

平成31年3月9日(土) 於：中央大学理工学部・後楽園キャンパス(〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27)、10:00-12:00 公開シンポジウム

『挑戦する両生類:カエル・イモリを使った研究の最前線』(5号館5534号室)

12:10-13:00 支部総会(5号館5534号室)

14:00-16:00 ポスター発表(5号館5134~5138号室)

全参加数 278名

中高校生ポスター 23件

中高校生参加者 52名

一般参加者 226名

2. 7月21日(日)に「海に住んでいるちょっと変わった動物たち」というタイトルで下記の通り公開講演会を開催した。236名の参加者(記帳227、講演者5、スタッフ4)があり、172名よりアンケートの回答を得た(アンケート詳細は別紙)。

日時：2019年7月21日(日) 13:30-16:00

会場：東京大学本郷キャンパス 理学部2号館4階講堂

対象：高校生、高校教員 他(小・中学生や一般の方の参加も歓迎)

演題：中野 裕昭「神経も筋肉もないのに運動できる！不思議な平板動物」

城倉 圭「虹色に輝くクシクラゲの謎に迫る」

泉 貴人「テンプライソギンチャク！？～“揚げたて”の研究成果～」

宮本 教生「ゲテモノ食いの宴～海底でおきたとっても変わった食性の進化～」

鈴木 忠「海産クマムシの素晴らしく多様な形態」

<近畿支部>

今年度の活動：近畿支部での活動は、動物学会の本大会における小中高校生ポスター発表会及び「動物ひろば」における展示・発表を行った。

<中国四国支部>

1. 日本動物学会第90回大阪大会の動物学ひろばへの展示動物の提供(メキシコサラマンダー、イベリアトゲイモリ、プラナリア)(岡山大学、佐藤 伸 会員)2019年9月14日、大阪市立大学
2. 高校生・一般を対象とした講演会、「35から見つける私の分野」の中で動物の変態について講演(愛媛大学 高田裕美 会員)、2019年10月5日、愛媛大学、高校生・保護者・高校教員など500名が参加
3. 愛媛県立長浜高等学校 水族館部研究班への研究指導(愛媛大学 高田裕美 会員)2019年9月14日、愛媛県立長浜高等学校、「えひめサイエンスリーダースキルアッププログラム」の一環

4. 高松東高等学校での分子生物学実験指導（徳島大学 箕田康一 会員）2019年11月20日、高松東高等学校にて、2年生対象に「制限酵素の働きとDNA電気泳動による解析」を指導
5. おもしろワクワク化学の世界（'19香川化学展）2019年8月3日、高松市常盤町、瓦町FLAGにて開催。「レーベンフック顕微鏡でチリモンを観察しよう」というテーマでレーベンフック顕微鏡を用いた観察指導（徳島文理大学 箕田康一 会員）
6. 生物学オリンピック香川県予選に伴う実験指導（徳島文理大学 小林 卓 会員）2019年7月14日、徳島文理大学
7. 講演会講師 細胞周期-研究の歴史と癌化の分子機構-（広島大学 古野伸朗会員）広島市立美鈴が丘高等学校 において講演 2019年7月17日
8. 磯の生物の採集と観察（広島大学向島臨海実験所 田川訓史 植木龍也 有本飛鳥 小林健司 会員）2019年9月25日（水曜）尾道市立高見小学校3年生（24名）を対象とした磯歩きを指導し、磯の生物の採集と観察を行った。
9. SSH講師 熊本県立宇土高等学校において、細胞周期について講演、2019年10月11日
10. 児童館における一般市民・児童を対象とした透明骨格標本作製指導（広島大学 小林勇喜 会員）、2019年12月8日、東広島市志和堀 ほたる荘
11. 海藻のしおり作り（広島大学向島臨海実験所 田川訓史 植木龍也 有本飛鳥 小林健司 会員）2020年2月13日に尾道市立高見小学校3年生（24名）を対象に磯で採集した海藻を使ってしおり作りを体験した。

<九州支部>

■3学会合同大会（長崎大学文教キャンパス）

開催日：2019年6月1日（土）高校生ポスター発表 9題

■高校生を対象とした公開実習

熊本大学理学部主催公開実習

日時：2019年11月17日（1回目）、2019年12月1日（2回目）

会場：熊本大学理学部

内容：熊本県内の高校生を対象とした熊本大学理学部主催の公開実習を支援。

参加者：11名（1回目）、4名（2回目）

■鹿児島例会における高校生の口頭発表

日時：2019年12月21日（土）13:00～15:30

会場：鹿児島大学理学部2号館1階212号講義室

内容：

<高校生による研究発表>

1. 「出水市に侵入したリュウキュウアブラゼミはどこから来たのか？」

鹿児島県立国分高等学校 サイエンス部 生物班

2. 「カマキリの体内に潜む寄生虫について V ～なぜ宿主の違いによってハリガネムシに形態差が生じるのか～」

鹿児島県立曾於高等学校 科学部 科学部 生物班

3. 「台風による渡り鳥の『漂行』」

鹿児島県立加世田高等学校 科学部 野鳥研究班

■三学会合同大分例会・第9会大分自然環境研究発表会における中学・高校生の口頭発表

日時：2019年12月21日（土）10：00～17：20

会場：大分大学旦野原キャンパス理工大講義室（104号教室）

<中学・高校生による研究発表>

1. 「チームタデ原」活動紹介

チームタデ原・九重町立このえ緑陽中学校 手崎結衣・音成穂華・山本結貴

2. 「ジビエで日田を明るく」

大分県立日田高等学校 小田陽香・江藤夏菜・堀乃由妃

(国際交流委員会)

1. 国際交流委員を以下のように決定した。

北海道：青沼仁志 北海道大学生命科学院

東北：熊野岳 東北大学生命科学研究科

関東：稲葉一男 筑波大学下田臨海実験センター（委員長）

中部：徳元俊伸 静岡大学創造科学技術大学院

近畿：梅園良彦 兵庫県立大学理学部

中国・四国：吉田真明 島根大学隠岐臨海

九州：藍 浩之 福岡大学理学部地球圏科学科

- 第1回動物学国際交流シンポジウム（英語）を、大阪大会期間の2019年9月13日に開催した（責任者：兵庫県立大学 梅園良彦）。今回は、学会本部との協議により、本年のシンポジウムを「ナリシゲシンポジウム（第1回動物学国際交流シンポジウム）」とした。
- 2020年大会シンポジウムとして、海外招待講演（HFSPプログラム）および公募による講演者らによる、第2回動物学国際交流シンポジウムを計画した。しかし、新型コロナウイルスの国内外の状況により、海外からの講演者招聘が困難であるなどの理由で、2021年度の米子大会に延期した。なお、2020年度大会（オンライン開催）では実施しないこととした。
- 新たに国際交流シンポジウムを開始したが、従来の国際交流セミナーは、日本人学生・院生に英語で交流する機会ともなるため、大会担当の委員に一任した上で開催を検討することとした。2020年度米子大会においては開催する方向で進めていたが、大会延期に伴い、あらためて検討することとした。

(IT委員会)

- 大阪大会における、演題検索システムの保守作業を行った。
- 9月11日、IT委員会を大阪市立大学杉本キャンパスで開催し、今後の活動方針について打ち合わせを行った。
- 9月をもって阿部秀樹委員が退任し、石原顕紀委員が着任した。
- 2020年米子大会のwebサイトの準備を行い、大会実行委員会に委譲した。

- 2020年米子大会の参加登録システム及び演題登録システムの準備を開始した。
- 動物学会 web サイトの修正及びメンテナンスを行った。
- 米子大会における、参加登録システム並びに演題登録システムの仕様策定、並びに運用テストを行った。
- 動物学会 web サイトの修正及びメンテナンスを行った。
- 米子大会順延とオンライン大会の実施に伴う、参加登録システム並びに演題登録システムの仕様変更、および運用テストを行い、運用を開始した。
- オンライン大会の実施にあたってのシステム条件の検討を行い、学会大会の実施方法を決定した。
- オンライン大会の実施にあたり、米子大会実行委員会より年次大会 web サイトの管理委譲を受け、管理を開始した。

(ZDW委員会)

- ZDW のデータ更新
2019年度に発刊された Zoological Science 36 巻 4 号から 37 巻 3 号までの検索用データを更新した。
- Early View の掲載について
ZS に受理された論文に関して、毎月一度の頻度で最終原稿を Early View として掲載した（雑誌に掲載された時点で Early View から削除）。ただし、2019 年度の途中より、BioOne において Issues in Progress として掲載されることとなり、ZDW での公開は中止した。
- 科研費「国際情報発信強化」による動物学雑誌、動物学彙報、Zoological Science (1-11 巻) の DOI 付与ならびに ZDW 上での公開
科学研究費の研究成果公開促進費・国際情報発信強化「動物学研究 140 年の英知とデータベース ZooDiversity Web の機能拡大による国際情報発信力強化」が採択され、今年度はまず、すでに ZDW で公開されている Zoological Science (1-11 巻) に DOI を付与することから開始した。
3 月までに 1285 論文を JaLC に登録し、DOI の付与を完了した。これにより、1 巻から 11 巻までは DOI により ZDW 内のアーカイブ論文が表示されるようになり、12 巻以降は BioOne 内の各論文が表示され、ZS の全論文に DOI が付与された。
現在は、動物学雑誌の論文・記事の PDF 化と DOI 付与、国立情報学研究所や国会図書館にデータが欠落しているもののスキャンと書誌データの作成、検索用データの調査・作成を進めている。すでに原著論文 3000 本の調査が完了しており、2020 年度には動物学雑誌の原著論文の調査を完了する予定。

(寄付委員会)

- 2019 年度は寄付委員会の改選期であったため、委員選出の取り決めに従い、各支部支部長に委員候補者の推薦を依頼し、候補者に委員就任を打診の後、以下の委員を決定した。
北海道支部 鈴木仁（北海道大学）

東北支部 越智陽城（山形大）＜留任＞
関東支部 沓掛磨也子（産総研）＜留任＞
中部支部 鈴木信雄（金沢大）＜留任＞
近畿支部 佐藤ゆたか（京都大）
中国四国支部 山中明（山口大）
九州支部 松尾亮太（福岡女子大）＜留任＞

2. 2019年9月11日に寄付委員会を開催し、寄付のあり方、寄付者へのお礼方法、寄付
お願いの周知方法、など具体的な活動について議論した。

・1万円以上の寄付をしてくださった方へのお礼として、学会特製トートバッグを
送付することとした。

・前年度に作成した「寄付パンフレット」および振込用紙を各支部の活動時等に配
布し、寄付の勧誘を行った。2019年度は以下の3件の配布を行なった。

関東支部・沓掛委員の協力により、2019年7月開催の動物学会関東支部講演会に
て配布。

東北支部・越智委員の協力により、2019年7月開催の動物学会東北支部大会にて
配布。

中国四国支部・山中委員の協力により、2019年10月に開催された山口大学主催一
般向け企画「サイエンスワールド」にて配布。

(会長報告)

1. 7月5日 茗原眞路子研究奨励助成金規程修正に関する議決について、（助成の額
と件数）という「新4条」を追加するという規程の一部の修正について、理事にメ
ールでの議決を依頼した。
2. 7月10日 寄付金のお願いチラシについて、寄付委員会と議論して印刷すること
を決めた。「新たな助成事業を行うことの確認」に関するみなし議決のお願いを理事
にメールした。
3. 7月12日 茗原眞路子研究奨励助成を実施するにあたり、その規定の一部修正を行
うことに関する「メールによるみなし議決」（7月5日付メール発送）と、それに
伴い内閣府に公益事業の変更認定の手続きのために提出する書類を理事に確認して
もらおうと同時に新たな助成事業を行うことの確認をしてもらうための「書面による
見なし議決」（7月10日付メールでお知らせし、現在議決書を郵送中）について、
高橋洋監事と八杉貞雄監事に異議のあるなしを確認した。
4. 7月17日 秋版の財団申請受付のスケジュールを武田賞等担当理事に確認した。
5. 7月18日 「重要用語を用いた入試問題作成に関する提言案」の内容を、生物学用
語に関する特任委員を依頼してあった赤坂会員、赤染会員および理事に確認し、植
物学会の松永氏に生物科学連合への提案を依頼した。
6. 8月20日 理事・監事に令和元年度第1回理事会を8月28日にweb会議システム
（Zoom）にて開催する旨、通知を行った。
7. 8月28日 令和元年度第1回理事会を8月28日にweb会議システム（Zoom）にて
開催した。

8. 8月30日 理事・監事に令和元年度第2回理事会を日本動物学会大会初日の9月11日に開催する案内をメールした。
9. 9月2日 名誉会員に推薦された阿形理事の辞任の承認と、繰り上がりにより理事に就任していただく深津会員に学会より通知した。
10. 9月11日 令和元年度第2回理事会を日本動物学会大会開催前日の9月11日に開催した。
11. 9月13日 令和元年度第1回総会を日本動物学会大会2日目の9月13日に開催した。
12. 9月27日 9月13日の学会大会時の総会における会長報告を議事録としてまとめた。動物学会が9月26日付で税額控除団体として再認定された旨、理事・監事に通知した。
13. 9月30日 動物学会が9月26日付で税額控除団体として再認定された旨、会員に通知した。
14. 10月2日 2019年に動物学会に寄附をいただいた方々へのお手紙を作成し、送付した。
15. 10月24日 高齢会員、永年会員、名誉会員 被選挙権について、会員にメーリングリストでお知らせした。台風15号・19号の被害に遭われた会員に会費の免除を実施することをお知らせした。
16. 11月13日 茗原眞路子研究奨励基金に関する書類を本部役員と相談の上、作成した
日本動物学会の公益性の説明
助成対象者の選考委員会名簿（予定）
同上の選考基準等を明記した内規
茗原眞路子研究奨励基金に関する規程
17. 11月14日 事務局長と相談し、学会への寄贈図書について、会員からの希望を募って抽選により配布した。
18. 11月14日 2019年12月13日（金）17:00～18:00 開催令和元年度第3回理事会の開催について理事に通知をした。
19. 11月20日 2019年第2回理事会議事録に関して本部役員と共に確認・修正を行った。
20. 12月13日 名誉会員に、被選挙権を持たない会員となった旨をお知らせした。
21. 12月13日 令和元年度第3回理事会をWeb会議により開催した。
22. 1月14日 会員の訃報に関する情報を事務局に送付してもらうよう、会員にメーリングリストを通じて依頼することを事務局と相談した。
23. 1月22日 1月21日付で動物学会が助成事業認定を受けたことを理事・監事にメールで報告した。
24. 1月23日 2020年の年頭に当たり、「真に持続可能な動物学会を目指して」というタイトルで、日本動物学会のwebsiteに年頭のご挨拶を書いたことを、動物学会会員にメールでアナウンスした。

25. 2月5日 朝日新聞からの「第90回大会やこれまでの大会で、子どもたちの際だった発表を挙げるとすると、どのようなものがあるか」という問い合わせに対して、「動物学会では、このプログラムの活動開始時より、発表者に優劣を付けることなく、すべての発表に対して優秀賞を会長から授与しており、特に際立った内容の発表が何であったか、と言う情報は持ち合わせていない。」との回答を作成し、事務局長に回答を委託した。
26. 2月13日 6月理事会の日程を本部役員ないし事務局と相談して決定した。
27. 2月27日 新型コロナウイルス感染症の日本国内における広がりの影響により、北海道支部、関東支部から支部大会中止の報告を受けた。
28. 3月2日 国際生物学オリンピック委員会と国際生物学賞への寄附を事務局に依頼した。
29. 3月9日 新たにZSの英文校閲者になれるエリザベス中島氏と業務委託の契約書を交わした。
30. 3月11日 第91回米子大会準備実行委員会委員長鶴崎会員、準備委員会総務担当椋田会員に、Websiteに掲載する「新型コロナウイルスに関連した米子大会に関する会員へのお知らせ案」を送った。
31. 3月24日 一般財団法人中辻創智社の研究費助成事業に対する委員推薦の協力について理事会に諮り、承認後、動物学会から委員一名を推薦した。
32. 3月26日 茗原眞路子研究奨励助成金応募書類2点を作成し、理事にチェックを依頼した。
33. 3月27日 川口賞受賞者の取り扱いについて、理事の承認を得たことを理事にアナウンスし、吉田幹事に議事録に追加するよう依頼した。
34. 4月3日 学会員シンポジストの参加費支払について、理事の承認を得たことを理事にアナウンスし、吉田幹事に議事録に追加するよう依頼した。
35. 4月8日 川口賞受賞者の酒井会員に来年の国際学会出席にこの賞金を使用していただくことをお認めし、出席後には学会事務局までご報告をいただくことを伝えるよう、事務局長に依頼した。
36. 4月19日 「茗原眞路子研究奨励助成事業に関するお知らせ」を修正し、事務局長に生物科学連合へ送るよう依頼した。
37. 4月21日 今年度の動物学会米子大会を1年先送りし、後の学会も1年ずつ後ろにシフトして大会担当のローテーションを回すことについて、理事にメール稟議を依頼した。
38. 4月22日 「茗原眞路子研究奨励助成事業に関するお知らせ」を小林武彦生物科学連合会長、生物科学連合事務局にメールで送信した。
39. 4月27日 臨時のオンライン理事会を5/1に開催する旨、理事に案内した。
40. 5月5日 関東支部選出理事の繰り上げ当選及び現状について、動物学会会員にメールを送信した。
41. 5月7日 動物学会の学生会費を次年度は無料にする旨、事務局から発信するよう、事務局長に依頼した。
42. 5月12日 学会大会に関するお知らせを動物学会会員に送信した。

43. 5月25日 2019年度第5回理事会を6月5日にZoomを用いたオンラインミーティングを行うことを動物学会理事・監事にメールで通知した。
44. 5月27日 理事会の年度および回数を訂正するメールを動物学会新旧理事に送信した。
45. 5月28日 2020年度学会大会の代替行事のお知らせを会員に送ることと大会のWebsiteへの掲載を、事務局長に依頼した。

(副会長報告)

1. 会長と各委員会の職務を補佐した。
2. Zoological Science の Editor-in-Chief として編集活動と投稿規定の改定、Zoological Science Award の審査を行った。

(庶務理事報告)

1. 会長、副会長、会計及び事務局長と連携を図りながら動物学会の運営の補佐を行った。
2. Zoological Science の著作権利用の申請について、17件の承認を行った。
3. 8月 事務局長と連携を図りながら平成30年度事業報告案の策定を行った。
4. 9月 東レ科学技術助成及び東レ科学技術賞への学会推薦に関する審査を行った。
5. 会長、副会長、会計、米子大会実行委員会及び事務局長と連携を図りながら、2020年米子大会の開催における COVID-19 対応について議論を行い、米子大会の順延が決定した後に、代替となるオンライン大会の設計、運営を行った。
6. 2月 山田科学財団への学会推薦に関する審査を行った。
7. 6月 事務局長と連携を図りながら令和2年度事業計画案の策定を行った。

(会計理事報告)

- 7月16日 職員の一般健診費用を学会負担とすることを決定した。
- 8月26-27日 8月28日開催の令和元年度第1回理事会で審議する平成30年度決算案に関する説明事項を事務局長と協議した。
- 8月28日 令和元年度第1回理事会に出席し、平成30年度決算案を説明した。
- 9月11日 令和元年度第2回理事会に出席した。
- 9月13日 令和元年度動物学会総会に出席し、平成30年度決算案を説明した。
- 9月4日 東レ科学技術助成及び東レ科学技術賞への学会推薦に関する審査をした。
- 11月7日 令和元年7-9月収支決算書を確認した。
- 11月15-18日 事務局長の2019年冬季賞与額と2020年度給与額を本部役員で議論し、決定した。
- 11月22日 事務局長に2019年度冬季賞与額と2020年度給与額を通知した。
- 11月28日 2020年度 Zoological Science 出版費(5,000円/論文)を了承した。
- 12月13日 令和元年度第3回理事会に出席した。
- 12月26日 令和元年7-11月収支決算書を確認した。
- 2月4~16日 山田財団応募書類の審査を行った。
- 2月13日 2019年7月~2020年1月の収支決算書を確認した。

2月21日 Zoological Science の Issue in Progress に係る費用として6万円/年の支出を了承した。

4月15日「茗原眞路子研究奨励助成」サイトに係る費用として6.5万円(税抜き)の支出を了承した。

5月1日 動物学会臨時ウェブ理事会に出席し、米子大会の1年延期を決定した。

5月11日 事務局長の給与額を学会の会計年度(7月～6月)と一致させることにしたため、2020年度給与額を再通知した。

6月5日 令和元年度第4回理事会に出席し、2020年度支部活動費、2020年度「公益社団法人日本動物学会予算(案)」、及び未収金について説明を行った。

(賞担当理事報告)

- 2019年9月 財団等推薦者選考委員会委員を開催し、応募があった中から、東レ科学技術研究助成2件、東レ科学技術賞1件の財団への推薦を決定した。
- 2019年10月 2020年度学会賞等選考委員会を立ち上げて、メール審議、互選により委員長を選出した。
- 2020年2月 OM賞審査委員会を組織した。
- 2020年2月 山田科学振興財団・2020年度研究援助について動物学会からの推薦として審査の結果5件を選定した。

10. 支部による活動

(北海道支部)

今期、北海道支部は役員会と支部総会、および2回の支部講演会を開催した。なお、3月に予定していた支部大会は新型コロナウイルス感染拡大に対する感染防止のため中止した。

1. 支部役員会

・第一回支部役員会

2019年7月11日(木)メールでの支部役員会を実施する。議題・報告事項として、1)今年度の庶務幹事および会計幹事の担当者について、2)前年度の支部会計報告、3)今年度の予算案について、4)前年度の事業報告について、5)今年度の事業計画について、を挙げた。特に異論などの意見は出ず、今年度の活動を本格的に開始した。

・第二回 支部役員会

2020年2月26日(水)メールでの支部役員会を実施する。議題・報告事項として、3月21日開催予定の北海道支部大会の中止について報告した。これは、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、支部大会の開催の有無を問うものであり、開催地区(西部地区)の委員と相談した結果をもとに、支部役員の先生方と協議を行った。その結果、3月21日開催予定の支部大会は中止とし、参加予定者および支部会員あてにその旨連絡・報告することとした。

・第三回 支部役員会

2020年3月30日(月)メールでの支部役員会を実施する。議題・報告事項として、1)今年度中止とした支部大会をどうするか、2)予算について、を挙げた。まず次回の支部大会を西部地区(今回中止となった支部大会の担当地区)で実施することとなった。なお実施日は未定だが2021年3月の予定としている。予算については、予算の大部分を執行する予定だった支部大会が中止となったため、web会議用のカメラおよびスピーカーの購入費用を予算に計上することとなった。なお、web会議用の機器の欠品状況が続いていたが、2020年6月29日に予定どおりweb会議用の機器を購入した。

2. 支部総会

2020年4月15日(水)メールでの支部総会を実施する(本来ならば、支部大会中に実施する予定だったが、支部大会の中止により急遽メールでの支部総会を実施した)。議題・報告事項として、1)2018年度-2019年度会計報告、2)2018年度-2019年度庶務報告、3)2019年度-2020年度事業計画と予算案、を挙げた。支部大会中止により総会の実施時期が遅くなったが、特に異論などの意見が出ることはなかった。

3. 支部講演会開催

支部講演会開催(第586回)

- ・日時:2019年8月8日(木)15:00~
- ・場所:北海道大学 理学部5号館813室
- ・演題:魚類の卵成熟・排卵関連遺伝子のゲノム編集を用いた解析
- ・演者:徳元俊伸 先生(静岡大学)

支部講演会開催(第587回)

- ・日時:2019年12月11日(水)17:00~
- ・場所:北海道大学 理学部5号館813室
- ・演題:弱電気魚における Corollary discharge 機構の進化
(Evolution of corollary discharge in weakly electric fish)
- ・演者:福富又三郎 先生(ワシントン大学セントルイス校生物学部門 研究員)

(東北支部)

1 日本動物学会北海道支部令和1年度支部大会

実施日:令和1年7月20日(土)・21日(日)

会場:岩手大学総合教育研究棟(教育系)

演題数:一般口演21題

参加者数:一般55名、高校生57名

2 高校生による科学研究発表会

実施日:令和1年7月20日(土)13:00~15:30

会場:岩手大学総合教育研究棟(教育系)

研究発表10題

参加者数：高校生 57 名。

3 親子で楽しむ動物学 19 「お店にあるのに知らないホヤの生物学」

実施日：令和 1 年 7 月 21 日（日）13:00～15:00

会場：岩手大学教育学部 102 室

参加者数 8 名

4 フォトコンテスト

応募数：18 作品

受賞：最優秀賞 1 作品、優秀賞 3 作品。

5 東北支部役員会を 7 月 20 日(土)に開催した。

議事：・理事会報告

・支部予算・決算報告

- ・ フォトコンテストの審査結果報告
- ・ 支部規約の改定について
- ・ 次期支部大会開催地について
- ・ 東北地区における次期本大会の開催地について

(関東支部)

1.支部委員会の実施

2019 年 12 月 19 日（木）18:00-19:00 東京大学 本郷キャンパス

2020 年 2 月 17 日（月）18:00-19:00 東京大学 本郷キャンパス

2020 年 2 月 28 日（金）13:00-14:00 オンライン(ZOOM)

2020 年 4 月 17 日（金）17:00-18:30 オンライン(ZOOM)

2020 年 6 月 25 日（木）18:00-18:30 オンライン(ZOOM)

2.支部主催公開講演会の実施

日時：令和元年 7 月 21 日（日）13:30～16:00

会場：東京大理学部 2 号館講堂

プログラム：『海に住んでいるちょっと変わった動物たち』

- ・ 神経も筋肉もないのに運動できる！不思議な平板動物
中野 裕昭 (筑波大学下田臨海実験センター)
- ・ 虹色に輝くクシクラゲの謎に迫る
城倉 圭 (筑波大学下田臨海実験センター)
- ・ テンプライソギンチャク！？～”揚げたて”の研究成果～
泉 貴人 (東京大学大学院・国立科学博物館)
- ・ ゲテモノ食いの宴～海底で起きたとっても変わった食性の進化～
宮本 教生(国立研究開発法人海洋研究開発機構 JAMSTEC)
- ・ 海産クマムシの素晴らしく多様な形態
鈴木 忠 (慶應義塾大学生物学教室)

参加人数: 236 名(記帳者)

3.支部大会・支部総会の実施

日時: 2020年3月14日(土) 10:00-12:00 オンライン講演、オンラインポスター発表は随時
会場: 慶應大学日吉キャンパス (大会長: 鈴木忠 会員 (慶應大学))

プログラム:

WebEx システム(cisco 社)を使用した公開講演会 (事前登録者に配信)

10:00-12:00 公開シンポジウム『共に生きる』(視聴者73名)

- ・ 深海と浅海から見た共生 北里大学大学院 海洋生命科学研究科 客員教授 丸山正
- ・ 4億年前に地上に現れ人間に最も身近な生物〜チーズをつくるダニ・トキと共に絶滅したダニ〜 法政大学 自然科学センター/国際文化学部 教授 島野智之
- ・ 共生・進化・生物多様性
- ・ 産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門 首席研究員 深津 武馬

LincBiz システム(AIoT クラウド社)を使ってポスター形式の掲示・コメントによるディスカッション(登録者217名)

- ・ オンライン総会(会員の閲覧、同意を得た)の開催
- ・ ポスター発表(一般発表104演題、中・高校生発表35演題)の開催

4. 支部代表委員、支部委員選挙の実施準備

5. 動物学の普及活動

(中部支部)

1. 2019年度中部支部大会および公開シンポジウムの開催

日時: 令和元(2019)年12月7日(土)13時30分~18時、12月8日(日)9時~12時

会場: 金沢市文化ホール 大会議室他

大会委員長: 山口正晃(金沢大学生命理工学系)

公開シンポジウム「能登における海洋生物学の新展開 ―魚類生殖細胞移植から養殖まで―」(13:30-15:30)

発表数: 口頭発表12題、ポスター発表38題

2. 2019年度中部支部委員会の開催

日時: 令和元(2019)年12月7日12:15-13:05

場所: 金沢市文化ホール 会議棟3階談話室

出席者: 後藤太郎、松田恒平、鈴木信雄、筒井尚昭、岡田令子、山口正晃、東城幸治、山本謙也、前川清人、木矢剛智、関口俊男

3. 2020年度中部支部大会および公開シンポジウムの開催準備

中部支部大会

日時: 令和元2(2020)年12月5日(土)~6日(日)

会場: 富山大学理学部多目的ホール

大会委員長: 松田恒平(富山大学大学院理工学研究部)

公開シンポジウム

動物学研究の最前線(仮題)

日時: 令和2(2020)年12月5日(土)

会場: 富山大学理学部多目的ホール

4. 2020 年度中部支部大会および公開シンポジウムの開催中止の決定

5 月 22 日に中部支部委員会でメール審議、決定

5. 中部支部大会中止に伴う公開講演会の開催計画

タイトル キンギョのゲノムと特異な表現型の遺伝基盤

講師 大森 義裕 (長浜バイオ大学 教授)

日時 2021 年 3 月頃

場所 基礎生物学研究所 岡崎コンファレンスセンター (変更の可能性あります)

対象 一般・高校生

(近畿支部)

1. 支部委員会の実施

1. 支部委員会の実施

2019 年 12 月 11 日～12 月 13 日 (公社)日本動物学会近畿支部秋季支部委員会

メール会議

報告及び議題：

1. 支部長報告・理事会報告
2. 2019 年春季支部会の議事録承認
3. 会計報告
 - ・ 2018 年度の収支決算報告および会計監査報告、
 - ・ 2019 年度の収支中間報告
4. 近畿支部の今後の活動予定
 - ・ 2020 年 5 月 春季研究発表会 大阪大学
 - ・ 2020 年 11 月 秋季公開講演会 橿原市昆虫館

2020 年 5 月 16 日～5 月 21 日 (公社)日本動物学会近畿支部春季支部委員会

メール会議

報告及び議題：

1. 2019 年秋季支部会の議事録承認
2. 支部長報告・理事会報告
3. 2019 年度会計中間報告
4. 近畿支部の今後の活動予定
5. 近畿支部教育委員会委員の交代

2. 支部研究発表会・講演会大会

2019 年 9 月 12 日 (木)～14 日 (土) 動物学会本大会を大阪市立大学で実施したため、秋の講演会は無しとした。

2020 年 5 月 9 日大阪大学南部ホールで計画していた近畿支部春の研究発表会は COVID-19 のため次年度へ延期することとなった。

3. 支部代表委員、支部委員選挙の実施準備

4. 2020 年度近畿支部秋季講演会 (橿原市昆虫館) の実施準備

(中国四国支部)

- 1.令和元年 10 月 26 日（土）に山口大学吉田キャンパス 理学部本館，農学部，FAVO 等にて実施された山口大学理学部サイエンスワールド 2019 を後援した。学生による科学体験企画を中心とした、地域住民への理工系の魅力発信が行われた。参加者：来場者 1454 名。
- 2.令和元年 12 月 14 日（土）に愛媛大学理学部本館 交流ゼミ室（511）にて愛媛県例会を開催した。演題数は 7 件、参加者は約 30 名。
- 3.令和元年 12 月 14 日（土）に高知大学理工学部情報科学棟にて、第 112 回土佐生物学会（高知県例会）を開催した。演題数：口頭発表 15 件、ポスター発表 10 件、参加者：60 名。
- 4.令和 2 年 3 月 9 日（月）に、広島大学大学院理学研究科 E 棟 大会議室（E203）にて広島県例会を開催した。演題数は 20 件、参加者は約 35 名。
- 5.令和 2 年 5 月 13 日（水）～28 日（木）に、メールおよびウェブ審議によって中国四国支部役員会を開催し、支部の事業計画、予算等について審議した。
- 6.令和 2 年 5 月 29 日（金）～6 月 11 日（木）にメールおよびウェブ審議によって中国四国支部総会を開催し、支部の事業計画および予算等についての審議を行った。

(九州支部)

1. 三学会合同鹿児島例会
日時：2019 年 7 月 13 日（土）
場所：鹿児島大学理学部 2 号館 1 階 211 講義室
発表演題数：1
参加者：30 名
2. 九州地区動物学談話会
日時：2019 年 8 月 22 日（土）～8 月 23 日（日）
場所：九州地区国立大学九重共同研修所（大分県玖珠郡九重町）
参加者：34 名
発表演題数：19（うち特別講演 1）
3. 三学会合同宮崎例会
日時：2019 年 11 月 10 日（日）13:30～15:030
会場：宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター木花フィールド 2 階講義室
発表演題数：2
参加者：15 名
4. 三学会合同熊本例会
日時：2019 年 11 月 16 日（土）12:30～15:30
会場：熊本大学 黒髪南キャンパス 理学部 2 号館 1 階 C122
発表演題数：3
参加者：16 名

5. 三学会合同佐賀例会

日時：2019年11月23日（土）13:00～17:00

会場：佐賀大学農学部1号館1階 S104 教室

発表演題数：3

参加者：19名

6. 熊本大学理学部主催公開実習

日時：1回目：2019年11月17日（日）

2回目：2019年12月1日（日）

会場：熊本大学理学部

参加者：11名（1回目）、4名（2回目）

7. 三学会合同長崎例会

日時：2019年12月14日（土）13:30～16:15

会場：長崎大学水産学部 本館2階 大会議室

発表演題数：8

参加者：25名

8. 三学会合同福岡例会

日時：2019年12月14日（土）13:00～15:30

会場：九州大学理学部講義棟（ウエスト1号館1階ビックリーフ）202号室

発表演題数：3

参加者：30名

9. 三学会合同大分例会（大分自然環境研究発表会と共催）

日時：2019年12月21日（土）10:00～17:20

会場：大分大学旦野原キャンパス理工大講義室104号教室

発表演題数：17（うち特別講演1）

参加者：160名

10. 三学会合同鹿児島例会

日時：2019年12月21日（土）13:00～15:30

会場：鹿児島大学理学部2号館1階212講義室

発表演題数：5

参加者：30名

11. 四学会合同沖縄例会（沖縄生物学会と共催）

COVID-19のため中止

12. 第 72 回日本動物学会九州支部大会

COVID-19 のため中止

13. 日本動物学会九州支部委員会

第 72 回日本動物学会九州支部大会の延期のため通信形式で開催

日時：2020 年 5 月 20 日（水）～5 月 27 日（水）

14. 日本動物学会九州支部総会

第 72 回日本動物学会九州支部大会の延期のため通信形式で開催

日時：2020 年 6 月 8 日（月）～6 月 15 日（月）

貸借対照表

令和 2年 6月30日現在

公益社団法人 日本動物学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	11,650,751	15,267,864	△ 3,617,113
未 収 金	277,400	668,800	△ 391,400
前 払 金	1,840,619	642,110	1,198,509
立 替 金	140,880	2,752,748	△ 2,611,868
流動資産合計	13,909,650	19,331,522	△ 5,421,872
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金：三菱東京UFJ銀行 春日町支店	10,000,000	10,000,000	0
定期預金：みずほ銀行 本郷支店	2,000,000	2,000,000	0
基本財産合計	12,000,000	12,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	12,916,442	12,036,042	880,400
茗原真路子基金資産	15,000,161	15,000,013	148
OM賞基金資産	11,012,619	11,012,598	21
川口基金資産	5,628,772	6,111,341	△ 482,569
特定資産合計	44,557,994	44,159,994	398,000
(3) その他固定資産			
図 書	250,000	250,000	0
什 器 備 品	1	1	0
電 話 加 入 権	72,800	72,800	0
保 証 金	554,540	554,540	0
その他固定資産合計	877,341	877,341	0
固定資産合計	57,435,335	57,037,335	398,000
資産合計	71,344,985	76,368,857	△ 5,023,872
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	805,575	651,085	154,490
前 受 金	0	6,842,000	△ 6,842,000
前 受 会 費	3,643,000	3,211,400	431,600
預 り 金	133,237	391,402	△ 258,165
未 払 消 費 税 等	0	177,200	△ 177,200
流動負債合計	4,581,812	11,273,087	△ 6,691,275
2. 固定負債			
退職給付引当金	12,916,442	12,036,042	880,400
固定負債合計	12,916,442	12,036,042	880,400
負債合計	17,498,254	23,309,129	△ 5,810,875
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄 付 金	42,141,552	42,623,952	△ 482,400
指定正味財産合計	42,141,552	42,623,952	△ 482,400
(うち特定資産への充当額)	31,641,552	32,123,952	△ 482,400
2. 一般正味財産			
正味財産合計	11,705,179	10,435,776	1,269,403
負債及び正味財産合計	53,846,731	53,059,728	787,003
負債及び正味財産合計	71,344,985	76,368,857	△ 5,023,872

正味財産増減計算書

令和 1年 7月 1日から令和 2年 6月30日まで

公益社団法人 日本動物学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,200	4,200	0
基本財産受取利息	4,200	4,200	0
特定資産運用益	2,800	2,800	0
特定資産受取利息	2,800	2,800	0
受取入金会金	21,000	27,000	△ 6,000
受取会費	16,350,660	16,693,300	△ 342,640
通常会員受取会費	14,199,660	14,607,500	△ 407,840
団体会員受取会費	879,000	929,000	△ 50,000
支部会員受取会費	1,272,000	1,156,800	115,200
事業収益	18,813,483	13,731,344	5,082,139
学術誌発行事業収益	8,990,525	8,089,966	900,559
学術集会参加費等収益	9,657,826	5,295,000	4,362,826
支部活動事業収益	165,132	346,378	△ 181,246
受取補助金等	9,500,030	10,800,023	△ 1,299,993
国際情報発信強化(B)	2,300,012	0	2,300,012
日本学術振興会 O A 刊行補助金	6,300,018	9,900,022	△ 3,600,004
日本学術振興会 公開促進補助金	900,000	900,001	△ 1
受取寄付金	2,377,728	2,283,250	94,478
雑収益	385,510	424,653	△ 39,143
受取利息	52	83	△ 31
著作権収益	229,184	202,215	26,969
雑収益	156,274	222,355	△ 66,081
経常収益計	47,455,411	43,966,570	3,488,841
(2) 経常費用			
事業費	40,629,128	39,534,381	1,094,747
学術集会の開催	6,963,639	2,690,009	4,273,630
英文学術誌の刊行	7,692,769	7,113,587	579,182
公開シンポジウム開催費	900,000	900,000	0
O A 刊行費	6,978,129	10,275,913	△ 3,297,784
国際情報発信強化(B)	2,301,760	0	2,301,760
支部活動費	1,251,817	1,909,248	△ 657,431
研究の奨励及び研究業績の表彰	2,699,142	2,274,687	424,455
動物学会賞	200,000	200,000	0
奨励賞	150,000	150,000	0
日本動物学会 O M 賞	1,000,000	1,004,795	△ 4,795
川口基金奨励金	482,628	300,000	182,628
論文賞	300,100	300,000	100
高校生研究発表奨励	566,414	319,892	246,522
関係学術団体との連絡・協力	85,000	85,000	0
委員会活動費	229,518	264,717	△ 35,199
支払寄付金	200,000	250,000	△ 50,000
給与手当	5,873,326	5,902,792	△ 29,466
法定福利費	1,107,222	944,814	162,408
退職給付費用	704,320	704,320	0
会議費	68,181	108,531	△ 40,350
旅費交通費	397,170	1,228,273	△ 831,103
電話料	126,679	110,091	16,588
消耗品費	86,540	160,215	△ 73,675
H P ・ 会 員 名 簿 D B 管理費	583,022	659,662	△ 76,640
光熱水費	69,679	75,040	△ 5,361
謝金	611,075	512,572	98,503

賃借料	479,468	475,026	4,442
貸倒損失	145,000	255,300	△ 110,300
雑費	1,075,672	2,634,584	△ 1,558,912
管理費	5,556,880	6,888,974	△ 1,332,094
給料手当	1,468,331	1,475,698	△ 7,367
法定福利費	276,871	235,424	41,447
退職給付費用	176,080	176,080	0
会議費	11,101	68,995	△ 57,894
旅費交通費	106,028	450,597	△ 344,569
電話料	126,675	110,089	16,586
通信運搬費	360,800	495,061	△ 134,261
消耗品費	193,501	353,701	△ 160,200
H P・会員名簿D B管理費	325,104	914,341	△ 589,237
光熱水料費	69,671	75,038	△ 5,367
謝金	1,784,755	1,537,892	246,863
賃借料	479,468	475,020	4,448
租税公課	0	1,400	△ 1,400
雑費	178,495	519,638	△ 341,143
経常費用計	46,186,008	46,423,355	△ 237,347
評価損益等調整前当期経常増減額	1,269,403	△ 2,456,785	3,726,188
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	1,269,403	△ 2,456,785	3,726,188
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,269,403	△ 2,456,785	3,726,188
一般正味財産期首残高	10,435,776	12,892,561	△ 2,456,785
一般正味財産期末残高	11,705,179	10,435,776	1,269,403
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	1,000,000	16,000,000	△ 15,000,000
受取O M賞寄付金	1,000,000	1,000,000	0
受取寄付金	0	15,000,000	△ 15,000,000
特定資産運用益	228	93	135
特定資産受取利息	228	93	135
一般正味財産への振替額	△ 1,482,628	△ 1,300,000	△ 182,628
O M賞基金資産の振替	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0
受取寄附金の振替	△ 482,628	△ 300,000	△ 182,628
当期指定正味財産増減額	△ 482,400	14,700,093	△ 15,182,493
指定正味財産期首残高	42,623,952	27,923,859	14,700,093
指定正味財産期末残高	42,141,552	42,623,952	△ 482,400
III 正味財産期末残高	53,846,731	53,059,728	787,003

正味財産増減計算書内訳表

令和 1年 7月 1日から令和 2年 6月30日まで

公益社団法人 日本動物学会

(単位：円)

科 目	一般会計		合 計
	公益目的事業会計	法人会計	
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,200	0	4,200
基本財産受取利息	4,200	0	4,200
特定資産運用益	2,800	0	2,800
特定資産受取利息	2,800	0	2,800
受取入金会金	10,500	10,500	21,000
受取会費	8,175,330	8,175,330	16,350,660
通常会員受取会費	7,099,830	7,099,830	14,199,660
団体会員受取会費	439,500	439,500	879,000
支部会員受取会費	636,000	636,000	1,272,000
事業収益	18,813,483	0	18,813,483
学術誌発行事業収益	8,990,525	0	8,990,525
学術集会参加費等収益	9,657,826	0	9,657,826
支部活動事業収益	165,132	0	165,132
受取補助金等	9,500,030	0	9,500,030
国際情報発信強化(B)	2,300,012	0	2,300,012
日本学術振興会 O A 刊行補助金	6,300,018	0	6,300,018
日本学術振興会 公開促進補助金	900,000	0	900,000
受取寄付金	2,377,728	0	2,377,728
雑収益	385,510	0	385,510
受取利息	52	0	52
著作権収益	229,184	0	229,184
雑収益	156,274	0	156,274
経常収益計	39,269,581	8,185,830	47,455,411
(2) 経常費用			
事業費	40,629,128	0	40,629,128
学術集会の開催	6,963,639	0	6,963,639
英文学術誌の刊行	7,692,769	0	7,692,769
公開シンポジウム開催費	900,000	0	900,000
O A 刊行費	6,978,129	0	6,978,129
国際情報発信強化(B)	2,301,760	0	2,301,760
支部活動費	1,251,817	0	1,251,817
研究の奨励及び研究業績の表彰	2,699,142	0	2,699,142
動物学会賞	200,000	0	200,000
奨励賞	150,000	0	150,000
日本動物学会 O M 賞	1,000,000	0	1,000,000
川口基金奨励金	482,628	0	482,628
論文賞	300,100	0	300,100
高校生研究発表奨励	566,414	0	566,414
関係学術団体との連絡・協力	85,000	0	85,000
委員会活動費	229,518	0	229,518
支払寄付金	200,000	0	200,000
給与手当	5,873,326	0	5,873,326
法定福利費用	1,107,222	0	1,107,222
退職給付費用	704,320	0	704,320
会議費	68,181	0	68,181
旅費交通費	397,170	0	397,170
電話料	126,679	0	126,679
消耗品費	86,540	0	86,540
H P ・ 会 員 名 簿 D B 管理費	583,022	0	583,022
光熱水費	69,679	0	69,679
謝金	611,075	0	611,075

賃借料	479,468	0	479,468
貸倒損失	145,000	0	145,000
雑費	1,075,672	0	1,075,672
管理費	0	5,556,880	5,556,880
給料手当	0	1,468,331	1,468,331
法定福利費	0	276,871	276,871
退職給付費用	0	176,080	176,080
会議費	0	11,101	11,101
旅費交通費	0	106,028	106,028
電話料	0	126,675	126,675
通信運搬費	0	360,800	360,800
消耗品費	0	193,501	193,501
H P・会員名簿D B管理費	0	325,104	325,104
光熱水料費	0	69,671	69,671
謝金	0	1,784,755	1,784,755
賃借料	0	479,468	479,468
雑費	0	178,495	178,495
経常費用計	40,629,128	5,556,880	46,186,008
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,359,547	2,628,950	1,269,403
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,359,547	2,628,950	1,269,403
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,359,547	2,628,950	1,269,403
当期一般正味財産増減額	△ 1,359,547	2,628,950	1,269,403
一般正味財産期首残高	△ 3,955,378	14,391,154	10,435,776
一般正味財産期末残高	△ 5,314,925	17,020,104	11,705,179
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	1,000,000	0	1,000,000
受取O M賞寄付金	1,000,000	0	1,000,000
特定資産運用益	228	0	228
特定資産受取利息	228	0	228
一般正味財産への振替額	△ 1,482,628	0	△ 1,482,628
O M賞基金資産の振替	△ 1,000,000	0	△ 1,000,000
受取寄附金の振替	△ 482,628	0	△ 482,628
当期指定正味財産増減額	△ 482,400	0	△ 482,400
指定正味財産期首残高	42,623,952	0	42,623,952
指定正味財産期末残高	42,141,552	0	42,141,552
III 正味財産期末残高	36,826,627	17,020,104	53,846,731

収支計算書

令和 1年 7月 1日から令和 2年 6月30日まで

公益社団法人 日本動物学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	5,000	4,200	800
基本財産利息収入	5,000	4,200	800
特定資産運用収入	20,000	3,028	16,972
特定資産利息収入	20,000	3,028	16,972
入会金収入	40,000	21,000	19,000
入会金収入	40,000	21,000	19,000
会費収入	18,656,800	16,350,660	2,306,140
通常会員会費収入	17,656,800	15,471,660	2,185,140
本部	16,000,000	14,199,660	1,800,340
北海道支部	150,000	64,000	86,000
東北支部	150,000	85,600	64,400
関東支部	622,400	505,600	116,800
中部支部	200,400	187,200	13,200
近畿支部	212,800	189,600	23,200
中国四国支部	171,200	142,400	28,800
九州支部	150,000	97,600	52,400
団体会員会費収入	1,000,000	879,000	121,000
事業収入	17,300,000	18,813,483	△ 1,513,483
学術誌発行事業収入	7,800,000	8,990,525	△ 1,190,525
学術誌予約購読料収入	6,800,000	7,528,425	△ 728,425
学術誌掲載料収入	300,000	420,000	△ 120,000
別刷代収入	700,000	1,042,100	△ 342,100
学術集会参加費等収入	9,500,000	9,657,826	△ 157,826
学術集会参加費等	9,500,000	0	9,500,000
参加費	0	5,662,000	△ 5,662,000
懇親会費	0	2,912,000	△ 2,912,000
広告費収入	0	140,000	△ 140,000
展示料	0	640,000	△ 640,000
賛助資金	0	303,826	△ 303,826
支部活動事業収入	0	165,132	△ 165,132
支部活動収入	0	165,132	△ 165,132
補助金等収入	9,500,000	9,500,030	△ 30
国際情報発信強化(B)	2,300,000	2,300,012	△ 12
日本学術振興会 O A刊行補助金	6,300,000	6,300,018	△ 18
日本学術振興会 公開促進補助金	900,000	900,000	0
寄付金収入	0	1,895,100	△ 1,895,100
寄付金収入	0	1,895,100	△ 1,895,100
雑収入	300,000	385,510	△ 85,510
受取利息収入	0	52	△ 52
著作権収入	0	229,184	△ 229,184
雑収入	300,000	156,274	143,726
事業活動収入計	45,821,800	46,973,011	△ 1,151,211
2. 事業活動支出			
事業費支出	39,886,800	39,924,808	△ 38,008
学術集会の開催	9,500,000	6,963,639	2,536,361
会場費	900,000	308,172	591,828
会場設定費等	1,500,000	504,058	995,942
印刷費	1,500,000	11,885	1,488,115
通信搬送費	200,000	127,982	72,018
謝金	1,300,000	894,040	405,960
消耗品費	100,000	97,188	2,812
雑費	1,000,000	1,501,134	△ 501,134

懇親会費	3,000,000	2,946,200	53,800
旅費交通費	0	572,980	△ 572,980
英文学術誌の刊行	7,230,000	7,692,769	△ 462,769
Zoological Science 印刷出版費	2,500,000	2,875,310	△ 375,310
別刷印刷費	60,000	81,456	△ 21,456
通信運搬費	70,000	66,834	3,166
編集費	4,600,000	4,669,169	△ 69,169
公開シンポジウム開催費	900,000	900,000	0
O A 刊行費	6,300,000	6,978,129	△ 678,129
A P C 費	6,300,000	1,301,563	4,998,437
Z L 広報費	0	4,953,958	△ 4,953,958
英文校閲費	0	722,608	△ 722,608
国際情報発信強化(B)	2,300,000	2,301,760	△ 1,760
X M L データ検証等	2,300,000	1,301,320	998,680
データ作成人件費	0	1,000,440	△ 1,000,440
支部活動費	1,656,800	1,251,817	404,983
研究の奨励及び研究業績の表彰	2,200,000	2,699,142	△ 499,142
動物学会賞	200,000	200,000	0
奨励賞	100,000	150,000	△ 50,000
日本動物学会 O M 賞	1,000,000	1,000,000	0
川口基金奨励金	300,000	482,628	△ 182,628
論文賞	300,000	300,100	△ 100
高校生研究発表奨励	300,000	566,414	△ 266,414
関係学術団体との連絡・協力	60,000	85,000	△ 25,000
委員会活動費	650,000	229,518	420,482
Z D W 委員会	500,000	118,200	381,800
動物学資料保存委員会	50,000	13,958	36,042
男女共同参画委員会	100,000	97,360	2,640
寄付金支出	200,000	200,000	0
給与手当	5,000,000	5,873,326	△ 873,326
法定福利費	1,000,000	1,107,222	△ 107,222
会議費	10,000	68,181	△ 58,181
旅費交通費	230,000	397,170	△ 167,170
電話料	105,000	126,429	△ 21,429
消耗品費	285,000	86,540	198,460
H P ・ 会 員 名 簿 D B 管 理 費	400,000	583,022	△ 183,022
光熱水費	60,000	69,679	△ 9,679
謝金	650,000	611,075	38,925
賃借料	500,000	479,468	20,532
貸倒損失	0	145,000	△ 145,000
雑費	650,000	1,075,922	△ 425,922
管理費支出	5,795,000	5,380,800	414,200
給与手当	1,700,000	1,468,331	231,669
法定福利費	300,000	276,871	23,129
会議費	40,000	11,101	28,899
旅費交通費	700,000	106,028	593,972
電話料	105,000	126,425	△ 21,425
通信運搬費	500,000	360,800	139,200
消耗品費	150,000	193,501	△ 43,501
H P ・ 会 員 名 簿 D B 管 理 費	300,000	325,104	△ 25,104
光熱水料	100,000	69,671	30,329
謝金	1,200,000	1,784,755	△ 584,755
賃借料	500,000	479,468	20,532
雑費	200,000	178,745	21,255
事業活動支出計	45,681,800	45,305,608	376,192
事業活動収支差額	140,000	1,667,403	△ 1,527,403
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
O M 賞基金取崩収入	0	2,000,000	△ 2,000,000

川口基金取崩収入	0	482,628	△ 482,628
投資活動収入計	0	2,482,628	△ 2,482,628
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	880,400	△ 880,400
退職給付引当資産取得支出	0	880,400	△ 880,400
茗原真路子基金資産繰入支出	0	148	△ 148
OM賞基金資産繰入支出	0	2,000,021	△ 2,000,021
川口基金資産繰入支出	0	59	△ 59
投資活動支出計	0	2,880,628	△ 2,880,628
投資活動収支差額	0	△ 398,000	398,000
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	140,000	1,269,403	△ 1,129,403
前期繰越収支差額	0	8,058,435	△ 8,058,435
次期繰越収支差額	140,000	9,327,838	△ 9,187,838

財産目録

令和2年6月30日現在

公益社団法人 日本動物学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金として		64,610
預金	郵便振替貯金：本郷郵便局	運転資金として		6,562,521
	普通預金：三菱UFJ銀行春日支店 寄附金口	運転資金として		191,586
	普通預金：みずほ銀行本郷支店	運転資金として		1,784,622
	普通預金：三菱UFJ銀行春日支店	運転資金として		12,294
	支部現金預金	運転資金として		3,035,118
未収金	論文掲載者に対する未収金	公益目的事業に係る未収入金である。		277,400
前払金				1,840,619
	BioMedCentoralへの前払金	公益目的事業に係る前払金である。		1,570,470
	学会大会の前払金	公益目的事業に係る前払金である。		270,149
立替金	科研費立替金	公益目的事業に係る立替金である。		140,880
流動資産合計				13,909,650
(固定資産)				
基本財産				12,000,000
定期預金	定期預金：三菱UFJ銀行 春日町支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の用に供している。		10,000,000
定期預金	定期預金：みずほ銀行本郷支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の用に供している。		2,000,000
特定資産				44,557,994
退職給付引当資産	郵便振替貯金：本郷郵便局	退職給付引当金見合の引当資産として管理 している。		12,916,442
茗原基金資産	普通預金：みずほ銀行本郷支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の 用に供している。		15,000,161
OM賞基金資産				11,012,619
	普通預金：みずほ銀行本郷支店 定期預金：みずほ銀行本郷支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の 用に供している。		3,012,619 8,000,000
川口基金資産	普通預金：みずほ銀行本郷支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の 用に供している。		5,628,772
その他固定資産				877,341
図書		公益目的保有財産であり、公益目的事業の 用に供している。		250,000
什器備品	パソコン 1台	管理業務の用に供している。		1
電話加入権	電話加入権	公益目的保有財産であり、公益目的事業、 管理業務で使用している共用資産である。		72,800
保証金	小形崇（本郷MTビル4階）	公益目的保有財産であり、公益目的事業、 管理業務で使用している共用資産である。		554,540
固定資産合計				57,435,335
資産合計				71,344,985

(流動負債)	未払金			805,575
	通信運搬費	ヤマト運輸(株)	公益目的事業及び管理業務に係る配送料である。	28,842
	社会保険料	年金事務所	公益目的事業及び管理業務に従事する職員に係る社会保険料の法人負担分である。	210,395
	印刷費	レタープレス(株)	公益目的事業に係る印刷料である。	494,220
	謝金	職員	公益目的事業及び管理業務に従事する職員の6月分給与である。	60,000
	給与手当	職員	公益目的事業及び管理業務に従事する職員の誤預り分である。	12,118
	前受会費	令和2年度会費	翌事業年度の会費である。	3,643,000
	預り金			133,237
	社会保険料	職員	社会保険料の本人負担分である。	128,737
	その他	日本古生物学会、日本疫学会 UniBioPress	立替費用の前受分である。	4,500
流動負債合計				11,273,087
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である。	12,916,442
固定負債合計				12,916,442
負債合計				17,498,254
正味財産				53,846,731